

第3回東急グループ環境・社会貢献賞表彰を実施

グランプリは、東急ホテルズ「使命感を持ちワンチームで挑んだコロナ無症状者・軽症者宿泊療養の受入」が受賞

東急グループ

今般、東急グループは、「第3回東急グループ環境・社会貢献賞表彰」(以下、本表彰)の受賞者を決定しました。

東急グループは、「美しい時代へ」というグループスローガンのもと、交通・不動産・生活サービス・ホテルリゾートといった幅広い分野で社会のインフラとなる事業を展開する、230社5法人(2021年3月末現在)から成る企業グループです。およそ100年前の創業以来、鉄道を中心としたまちづくりを通じて社会課題と向き合い、環境に配慮し、広く社会に役立つ事業運営を継続してきました。本表彰は、グループ各社の優れた環境・社会貢献への取り組みを表彰し、社内外に周知することで、従業員を含めた一人ひとりの環境・社会貢献に対する意識の向上と、東急グループの環境・社会貢献への取り組みを活性化することを目的として、年に一度実施しています。なお、本表彰は、2008年度に創設した「東急グループ 環境賞」と「東急グループ ブランド賞」を統合し、2018年度から開始したものです。

第3回目となる2020年度は、「環境」「社会貢献」の2部門で対象となる活動案件を募集し、35社合計77件(環境36件、社会貢献41件)の応募が寄せられました。今般、グループ10社の環境・社会貢献部門の責任者により構成される審査委員会により、最も優れた取り組みとして「環境・社会貢献賞(グランプリ)」1件、各部門を代表する取り組みとして「環境賞」2件、「社会貢献賞」2件、「特別賞」2件の計7件の表彰を決定しました。

受賞者は以下の通りです。

■「環境・社会貢献賞(グランプリ)」(1件)

使命感を持ちワンチームで挑んだコロナ無症状者・軽症者宿泊療養の受入	東急ホテルズ
-----------------------------------	--------

■「環境賞」(2件)

国際ビジネス拠点「東京ポートシティ竹芝」～グリーンネットワークの構築～	東急不動産
水素エネルギーでレタスを栽培！日本初のCO2フリー電力循環型ホテル	東急ホテルズ

■「社会貢献賞」(2件)

東急線ホームドア設置プロジェクト –「すべての駅に安心を」–	東急電鉄
雨水貯留施設整備による渋谷駅周辺の防災拠点としての強化	東急

■「特別賞」(2件)

余剰備品のシェアリングと廃棄物の活用革命	東急電鉄
養護学校への清掃指導・職業実習への協力	伊豆急ハウジング



▲宿泊療養の受入(東急ホテルズ)



▲東京ポートシティ竹芝(東急不動産)



▲ホームドア設置(東急電鉄)

本表彰制度を通じ、業界の垣根を越えて東急グループ各社の知見を共有することで、「美しい生活環境を創造し、調和ある社会と、一人ひとりの幸せを追求する」というグループ理念のさらなる浸透に寄与することを目指します。

詳細については、別紙のとおりです。

以 上

【別紙】

1. 表彰案件の内容と採択理由

■環境・社会貢献賞(グランプリ・1件)

・使命感を持ちワンチームで挑んだコロナ無症状者・軽症者宿泊療養の受入 (東急ホテルズ)

東京虎ノ門東急REIホテルでは、2020年4月から2021年3月末までに計2,388名のコロナウイルス感染症無症状者・軽症者の宿泊療養受入れを行った。社会のニーズに応じて安全に受け入れたことに加え、外出することのできない宿泊療養者に対し、ホテルメイドのお弁当を提供するなど、ホテルならではの工夫も行ったことが、多くの審査員から高く評価された。

■環境賞(2件)

・国際ビジネス拠点「東京ポートシティ竹芝」～グリーンネットワークの構築～ (東急不動産)

壁面緑化、雨水貯留、雨水利用、太陽光発電、BEMSなどの省エネ施設、地域冷暖房、コージェネレーションシステムなどによるCO2削減量は10,250トン。水田などの施設を活用した環境教育などのソフト面も展開した。省エネを含む複数の認証を取得した地域開発事業。地域と共生したグリーンネットワークの構築が評価された。

・水素エネルギーでレタスを栽培！日本初のCO2フリー電力循環型ホテル (東急ホテルズ)

川崎キングスカイフロント東急REIホテルでは、水素エネルギー由来の電気を利用してLED照明によるレタス栽培を開始した。環境省の実証事業として最先端の栽培法を採用し、ホテル内のレストランでお客さまに提供している。その他、食品廃棄物をバイオマス発電の原料として提供するなど、再エネ化につなげた。「水素ホテル」としての取り組みを継続し進化させ、「レタス」という目に見える形につなげたユニークな工夫が評価された。

■社会貢献賞(2件)

・東急線ホームドア設置プロジェクト―「すべての駅に安心を」― (東急電鉄)

大手民鉄初の取り組みとして、2019年度末までに東急線全駅(※)にホームドア・センサー付固定式ホーム柵の設置を完了させた。2015年に目標を発表して計画的に工事を進め、ホーム上の安全性向上と安定運行に大きく寄与したことが評価された。(※)世田谷線・こどもの国線を除く

・雨水貯留施設整備による渋谷駅周辺の防災拠点としての強化 (東急)

渋谷駅街区土地区画整理事業において、すり鉢状の地形で水害にあいやすい渋谷駅に45m×22mの大型雨水貯留施設を整備した。「水害に強く安全・安全なまちづくり」の目標に沿って、2011年に工事開始、2020年8月に供用開始となった。報道公開も積極的に行い、安全安心への取り組みを発信し続けていることも評価された。

■特別賞(2件)

・余剰備品のシェアリングと廃棄物の活用革命 (東急電鉄)

駅などで不要となった什器備品類の情報を共有することによりシェアリングするもの。コロナ禍での事業構造変革による事業基盤強化の一環として、経費削減と廃棄物削減を目的としている。42職場、3,800点が登録されて540点の利用実績があった。従業員の3Rの意識付け効果にもつながり、他職場でも展開できる取り組みが評価された。

・養護学校への清掃指導・職業実習への協力 (伊豆急ハウジング)

地域の養護学校からの依頼により、同校の授業内で、開校以来10年間、清掃作業指導や職業実習受け入れを行っている。生徒の将来の職業や家庭生活で活かせる技能習得とともに、地域の交流活性化にもつながっている。地域に根差した活動を継続する企業姿勢が評価された。

2. 表彰制度開始以来のグランプリ一覧

■東急グループ環境・社会貢献賞

2018年度	使用済アメニティを活用“世界初の水素ホテル”	東急ホテルズ
2019年度	南町田グランベリーパークの環境・防災施策	東急
		東急電鉄
		東急設計コンサルタント
2020年度	使命感を持ちワンチームで挑んだコロナ無症状者・軽症者宿泊療養の受入	東急ホテルズ

■東急グループ 環境賞

年度	案件名	受賞会社
2008年度	東急東横線渋谷駅地下化事業	東京急行電鉄
2009年度	グランドメゾン東戸塚における連鎖植生事業	石勝エクステリア
2010年度	二子玉川再開発事業における環境配慮	東京急行電鉄 東急不動産
2011年度	① 渋谷ヒカリエ ～自然エネルギーを活用した環境に優しい複合ビル～	東京急行電鉄
	② 東急プラザ表参道原宿における屋上緑化と環境保全の取り組み	東急不動産
	③ お客様と共に取り組む環境保全活動「グリーンコイン」が10周年	東急ホテルズ
2012年度	① 緑をキッカケに、よりよい街づくり 『みど*リンク』アクション	東京急行電鉄
	② 「働ける屋上庭園」がある、緑・光・風のオフィス～新目黒東急ビルにおける環境への新たな取り組み～	東急不動産
2013年度	① 省エネで街を元気に「家庭の省エネプロジェクト」	東京急行電鉄 イツ・コミュニケーションズ 東急建設
	② 東急グループで取り組む省CO2先導事業「ブランドシティ品川勝島」	東急不動産
2014年度	二子玉川ライズにおけるLEED ND取得	東京急行電鉄 東急不動産
2015年度	東急プラザ銀座 ～環境配慮・地域貢献の取り組みについて～	東急不動産
2016年度	持続可能な街づくり「世田谷中町」プロジェクト～分譲マンションとシニア住宅 大規模複合開発～	東急不動産
2017年度	公園の中のオフィス「日比谷パークフロント」～日本の”はたらく”を緑でデザインする～	東急不動産

■東急グループ ブランド賞

年度	案件名	受賞会社
2008年度	ママ大学	東急ストア
2009年度	マリ共和国への衣料品救援活動	東急建設
2010年度	とうきゅうスプリングコンサート	東北東急会
2011年度	ハンズヒントクラブ	東急ハンズ
2012年度	東急ちびっこフットサルYOKOHAMA	横浜東急会
2013年度	SHIBUYA109KAMAI SHI	東急モールズデベロップメント
2014年度	事業継続力の向上と減災への取り組み	イツ・コミュニケーションズ
2015年度	横浜市・川崎市と連携した地域見守り活動	東京急行電鉄 東急ストア 東急セキュリティ イツ・コミュニケーションズ
2016年度	「子供たちに笑顔を！」プロジェクト	東京急行電鉄 東急ホテルズ 東急バス 東急ストア 東急エージェンシー 東北東急会
2017年度	さっぽろ駅前保育園の開園	東急百貨店